



「全国財務局管内経済情勢報告概要」の主なポイント (令和2年7月判断)

財務省

令和2年8月4日


地域経済の概況（令和2年7月判断）

1. 各地域の経済情勢

- 各財務局管内の経済情勢を示す「総括判断」は、全11地域で「上方修正」。
 - － 前回（2年4月）と比較すると、新型コロナウイルス感染症の影響により、「極めて厳しい」又は「厳しい」状況にあるものの、足下では、「持ち直し」や「下げ止まり」の動きがみられる。
- 各財務局の個別項目の判断
 - － 「個人消費」は、全11地域で「上方修正」。
 - － 「生産活動」は、4地域（東海、中国、福岡、沖縄（観光））で「上方修正」、3地域（北海道、北陸、四国）で「下方修正」。
 - － 「雇用情勢」は、10地域（北海道、東北、関東、北陸、近畿、中国、四国、九州、福岡、沖縄）で「下方修正」。

2. 全局総括判断

- 地域経済に関する各財務局の報告をとりまとめると、
 - － 「個人消費」は、感染症の影響がみられるものの、足下では、外出自粛の緩和により、緩やかに持ち直しつつある。
 - － 「生産活動」は、地域差がみられるものの、足下では、自動車を持ち直しの動きがみられるなど、全体としては下げ止まりつつある。
 - － 「雇用情勢」は、新規求人での下げ止まりの兆しがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
- これらを踏まえ、「全局総括判断」は、「厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まり、一部で持ち直しの動きがみられる」へ上方修正した。（平成29年10月判断以来、11期（2年9カ月）ぶりの上方修正）

| | 前回（2年4月判断） | 今回（2年7月判断） | 基調比較 |
|------------|--|---|---|
| 全局 総括判断 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい</u> 状況にあるものの、足下では下げ止まり、 <u>一部で持ち直しの動きがみられる</u> |  (上方修正) |

(注1) 2年7月判断は、前回4月判断以降、足下(7月末)の状況までを含めた期間で判断。

(注2) 下線部が基調判断。

各地域の「総括判断」の比較

| | 2年1月判断 | | 2年4月判断 | | 2年7月判断 | |
|-----|----------------------------------|---|--|---|--|---|
| 全局 | 生産に弱さがみられるものの、 <u>回復している</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、 <u>足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まり、一部で持ち直しの動きがみられる</u> | ↗ |
| 北海道 | <u>緩やかに回復している</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、 <u>足下では観光で悪化がみられるなど、極めて厳しい状況にある</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により <u>極めて厳しい状況にあるものの、経済活動の再開に伴い、一部に下げ止まりの動きがみられる</u> | ↗ |
| 東北 | <u>回復しつつある</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、 <u>足下で大きく下押しされており、厳しい状況にある</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u> | ↗ |
| 関東 | 生産に弱さがみられるものの、 <u>回復している</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、 <u>足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u> | ↗ |
| 北陸 | <u>拡大に向けたテンポが緩やかになっている</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>弱い動きとなっており、足下ではさらに下押しされ、厳しい状況にある</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況が続いているものの、一部では下げ止まりの動きがみられる</u> | ↗ |
| 東海 | <u>拡大の動きに一服感がみられる</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、 <u>足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では持ち直しの動きがみられる</u> | ↗ |
| 近畿 | <u>緩やかに拡大しつつある</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、 <u>足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>極めて厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u> | ↗ |
| 中国 | 生産に弱さがみられるものの、 <u>緩やかに回復している</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、 <u>足下で急速に下押しされており、厳しい状況にある</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u> | ↗ |
| 四国 | <u>緩やかに回復している</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、 <u>足下で下押しされた状況にある</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u> | ↗ |
| 九州 | <u>緩やかに回復している</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、 <u>足下で急速に下押しされており、厳しい状況にある</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u> | ↗ |
| 福岡 | <u>回復している</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、 <u>足下で急速に下押しされており、厳しい状況にある</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u> | ↗ |
| 沖縄 | <u>拡大している</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、 <u>足下では観光で悪化がみられるなど、極めて厳しい状況にある</u> | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>極めて厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u> | ↗ |

(注1) 下線部が基調判断。(注2) 矢印は、前回との基調比較。

「個別項目」の特徴的な動向

1. 個人消費 ※全11地域で「上方修正」

- 「スーパー販売」は、巣ごもり需要により、飲食料品を中心に引き続き堅調。
- 「百貨店販売」は、緊急事態宣言解除後の営業再開により、足下では、来客数に下げ止まりの動きがみられる。
- 「コンビニエンスストア販売」は、外出自粛によりオフィス街や行楽地等で来客数が減少しているものの、足下では、持ち直しつつある。
- 「ドラッグストア販売」は、感染症の影響により、マスクや除菌商品のほか飲食料品も好調。
- 「家電販売」は、パソコン等のテレワーク需要のほか、足下では、特別定額給付金等によりテレビやエアコンなどの高単価商品が好調。
- 「新車販売」は、感染症の影響による来客数の減少等により弱い動きとなっている。
- 財務局のヒアリングによると、宿泊や飲食、運輸等のサービス業では、外出自粛の緩和により、下げ止まりつつある。しかしながら、先行きについては、感染症の影響が残るなか、サービス業を中心に回復には時間がかかるとの声もきかれる。

2. 生産活動 ※4地域（東海、中国、福岡、沖縄(観光)）で「上方修正」、3地域（北海道、北陸、四国）で「下方修正」

- 「自動車」は、国内外の需要低迷により生産調整を行ってきたが、足下では、持ち直しの動きがみられる。
- 「生産用機械」は、半導体製造装置等が堅調なものの、自動車向け工作機械等の生産が減少し、弱い動きとなっている。
- 「電子部品・デバイス」は、車載向けが減少しているものの、足下では、スマートフォン向けなどの5G関連の需要が堅調。
- なお、上記の通り、「自動車」を主産業とする地域では上方修正を行う傾向にある一方、同産業があまり立地していない、又は、影響が遅れて波及する裾野産業（生産用機械等）が多数立地する地域では下方修正を行う傾向にあるなど、産業構造の違いによって地域差がみられる。

3. 雇用情勢 ※10地域（北海道、東北、関東、北陸、近畿、中国、四国、九州、福岡、沖縄）で「下方修正」

- 新規求人で下げ止まりの兆しがみられるものの、感染症の影響により、有効求人倍率は低下し、完全失業率は上昇するなど、弱い動きとなっている。
- 財務局のヒアリングによると、雇用調整助成金を活用して雇用維持に努める企業がある一方、非正規社員の契約更新を見送る動きなどが広がっており、先行きには十分注意する必要。

各地域の「個別項目」の比較

個人消費

生産活動 ※沖縄は「観光」

雇用情勢

| | 前回 (2年4月判断) | 今回 (2年7月判断) | | 前回 (2年4月判断) | 今回 (2年7月判断) | | 前回 (2年4月判断) | 今回 (2年7月判断) | |
|-----|---|---|---|--|---|---|------------------------------------|-------------------------------|---|
| 北海道 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、一進一退の状況にある | 新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、足下では持ち直しの動きがみられる | ↗ | 弱含んでいる | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | ↘ | 改善してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | ↘ |
| 東北 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある | ↗ | 弱含んでいる | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる | ➡ | 改善のテンポが緩やかになっている | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | ↘ |
| 関東 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、足下では緩やかに持ち直しつつある | ↗ | 足踏みの状況にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で減産の動きが広がっている | 一部に下げ止まりの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している | ➡ | 改善のテンポが緩やかになっている | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | ↘ |
| 北陸 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いてきたが、足下では持ち直しの兆しがみられる | ↗ | 弱含んでいる | 弱まっている | ↘ | 改善しているものの、一部に弱い動きがみられる | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | ↘ |
| 東海 | 感染症の影響により、スーパーやドラッグストア販売が増加している一方、百貨店や乗用車販売のほか、旅行などサービス消費を中心に厳しい状況がみられ、全体としては足下で急速に減少している | 感染症の影響が残るものの、持ち直しの動きがみられる | ↗ | 感染症の影響により、足下で急速に減少している | 厳しい状況にあるものの、足下では持ち直しの動きがみられる | ↗ | 感染症の影響により、幅広い業種で求人減少がみられる | 感染症の影響により、幅広い業種で求人減少が続いている | ➡ |
| 近畿 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している | 新型コロナウイルス感染症の影響による厳しさが残るものの、足下では下げ止まりの動きがみられる | ↗ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している | 一部に下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している | ➡ | 改善しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | ↘ |
| 中国 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、足下、弱い動きとなっている | 新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では持ち直しの動きがみられる | ↗ | 弱まっている | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる | ↗ | 改善してきたが、足下、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる | ↘ |
| 四国 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある | ↗ | 足踏みの状況にある | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる | ↘ | 改善していたが、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | ↘ |
| 九州 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きが続いているものの、足下では緩やかな持ち直しの動きがみられる | ↗ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | 一部に下げ止まりの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きが続いている | ➡ | 改善していたが、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | ↘ |
| 福岡 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部で急速に下押しされ、足下減少している | 新型コロナウイルス感染症の影響による厳しさが残るものの、足下では一部に持ち直しの動きがみられる | ↗ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる | ↗ | 改善してきたが、足下、一部に新型コロナウイルス感染症の影響がみられる | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | ↘ |
| 沖縄 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる | 感染症の影響により、弱含んでいるものの、足下では持ち直しの動きがみられる | ↗ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、悪化している | 感染症の影響により、悪化しているものの、足下では下げ止まりの動きがみられる | ↗ | 改善していたが、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる | 感染症の影響により、弱い動きとなっている | ↘ |

企業等の主な声

個人消費

- 外出機会の増加により買いため傾向は和らいだものの、テレワークが浸透したことで一定の内食需要は継続。7月足下の客数・客単価は、通常期の年末年始を上回る高水準である。【スーパー・大・近畿】
- 4～5月の売上は8割程度の減少となったが、足下では2割程度の減少と改善してきている。ただし、7月以降は、一部地域で感染者数が再び増加傾向にあり、客数の回復スピードが鈍化している。【百貨店・大・関東】
- 緊急事態宣言中は、外出自粛によりオフィス街やイベント会場、観光施設の近隣店舗の来店客数が低調となったものの、足下ではオフィス街需要が戻りつつある。【コンビニ・大・四国】
- 6～7月は前年を上回っており、エアコンとテレビが好調。特別定額給付金の支給率が高い地域で売上を伸ばすなど、未だに旅行を躊躇するなかで、給付金やボーナスの使い道に家電が選ばれている。【家電量販店・大・近畿】
- 道外移動が緩和されたものの、依然として飛行機による移動に対して顧客の警戒感が高い。今後は、徐々に航空需要も回復する見込みだが、首都圏での感染者がまた増加していることもあり、不安は残る。【運輸・大・北海道】

生産活動

- 国内外の需要の持ち直しから、工場の休止は一部に留める一方、休日出勤を行うことで生産の挽回を図り、7月は当初計画をやや下回る程度まで回復する見込み。【自動車・大・東海】
- 中国向けの工作機械の引き合いがでてきたものの、国内向けは自動車メーカーの販売不振の影響で低迷している。自動車業界全体で設備投資への様子見が長期化しており、厳しい状況にある。【生産用機械・中堅・北陸】
- 車載向けコンデンサの販売は、取引先の在庫積み増しによってわずかな下落ですんでいるものの、世間での自動車販売の不振の影響が今後でてくるのではないかと懸念している。一方で、スマホ向けは5G関連の部品を中心に、順調に推移している。【電子部品/デバイス・中堅・東北】







雇用情勢

- 感染症の拡大前までは人手不足であったが、現在は人余りの状況。雇用調整助成金を活用し、正社員は休業手当を支給して雇用を維持している。【飲食サービス・大・関東】
- 感染症の影響から、生産が落ちており人員に余剰感があるため、派遣やパートの更新を行わない対応をとっている。【繊維・大・北陸】

各地域の「総括判断」①

| | 前回 (2年4月判断) | 今回 (2年7月判断) | 基調 比較 | 総括判断の要点 |
|-----|--|--|---|---|
| 北海道 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、 <u>足下では観光で悪化がみられるなど、極めて厳しい状況にある</u> | 新型コロナウイルス感染症の影響により <u>極めて厳しい状況にあるものの、経済活動の再開に伴い、一部に下げ止まりの動きがみられる</u> |  | 個人消費は、スーパー販売で新型コロナウイルス感染症による「巣ごもり消費」から、主力の食料品が堅調に推移しており、持ち直しの動きがみられる。生産活動及び雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。観光は、新型コロナウイルス感染症の影響により悪化しているものの、足下では下げ止まりの動きがみられる。 |
| 東北 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、 <u>足下で大きく下押しされており、厳しい状況にある</u> | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u> |  | 個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、電子部品・デバイスが自動車向けなどで低調となっているほか、輸送機械が弱い動きとなっているなど、弱含んでいる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。 |
| 関東 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、 <u>足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある</u> | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u> |  | 個人消費は、感染症の影響がみられるなか、スーパー販売額、ドラッグストア販売額が前年を上回っているほか、百貨店販売額、コンビニエンスストア販売額に下げ止まりの動きがみられるなど、足下では緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、一部に下げ止まりの動きがみられるものの、輸送機械、電気機械、化学が減少しているなど、感染症の影響により、全体として減少している。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。 |
| 北陸 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>弱い動きとなっており、足下ではさらに下押しされ、厳しい状況にある</u> | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況が続いているものの、一部では下げ止まりの動きがみられる</u> |  | 個人消費は、ドラッグストア販売やホームセンター販売が好調となっており、家電大型専門店販売は持ち直しつつある。また、百貨店・スーパー販売は前年を大幅に下回ってきたが、足下では持ち直しの兆しがみられるなど、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いてきたが、足下では持ち直しの兆しがみられる。生産活動は、電子部品・デバイスが緩やかに持ち直しつつあり、化学は足下では拡大しているが、生産用機械、金属製品、繊維が弱まっていることなどから、全体では弱まっている。雇用情勢は、有効求人倍率が低下していることなどから、弱い動きとなっている。 |
| 東海 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、 <u>足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある</u> | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では持ち直しの動きがみられる</u> |  | 感染症の影響が残るものの、緊急事態宣言の解除により、個人消費は持ち直しの動きがみられる。生産活動は、輸送機械を中心に足下では生産調整が小幅になるなど持ち直しの動きがみられる。こうしたなか、雇用情勢は幅広い業種で求人減少が続いている。 |

各地域の「総括判断」②

| | 前回 (2年4月判断) | 今回 (2年7月判断) | 基調 比較 | 総括判断の要点 |
|----|--|---|---|--|
| 近畿 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、 <u>足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある</u> | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>極めて厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u> |  | 個人消費は、百貨店販売や旅行取扱等を中心に新型コロナウイルス感染症の影響による厳しさが残るものの、足下では下げ止まりの動きがみられる。生産活動は、一部に下げ止まりの兆しがみられるものの、感染症の影響により減少しており、雇用情勢も弱い動きとなっている。 |
| 中国 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、 <u>足下で急速に下押しされており、厳しい状況にある</u> | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u> |  | 個人消費は、百貨店販売やコンビニエンスストア販売が低調であるなど、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では持ち直しの動きがみられる。生産活動は、輸送機械が減少しているなど、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。 |
| 四国 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、 <u>足下で下押しされた状況にある</u> | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u> |  | 個人消費は、スーパーが堅調であるほか、百貨店や観光等は、足下では持ち直しの動きなどがみられることから、全体としては新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、輸送機械で足踏みの状況にあるほか、電気機械や汎用・生産用機械が弱含んでいることから、全体としては、弱含んでいる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。 |
| 九州 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、 <u>足下で急速に下押しされており、厳しい状況にある</u> | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u> |  | 個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、百貨店・スーパー販売及びコンビニエンスストア販売は前年を下回っているものの、足下では客足が戻りつつあるなど、緩やかな持ち直しの動きがみられる。生産活動は、一部に下げ止まりの動きがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きが続いている。雇用情勢は、有効求人倍率が低下しているなど、感染症の影響により、弱い動きとなっている。 |
| 福岡 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、 <u>足下で急速に下押しされており、厳しい状況にある</u> | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u> |  | 個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しさが残るものの、百貨店・スーパー販売額の減少幅が縮小しているほか、家電大型専門店販売額が増加に転じているなど、足下では一部に持ち直しの動きがみられる。生産活動は、自動車の生産台数が減少していたものの、足下では減少幅が縮小しているなど、一部に下げ止まりの動きがみられる。雇用情勢は、弱い動きとなっている。 |
| 沖縄 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、 <u>足下では観光で悪化がみられるなど、極めて厳しい状況にある</u> | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>極めて厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u> |  | 個人消費は、百貨店・スーパーやコンビニエンスストアの販売額が減少するなど、感染症の影響により、弱含んでいるものの、足下では持ち直しの動きがみられる。観光は、入域観光客数が大幅に減少するなど、感染症の影響により、悪化しているものの、足下では下げ止まりの動きがみられる。雇用情勢は、有効求人倍率が低下するなど、感染症の影響により、弱い動きとなっている。 |

各地域の「先行き」

今回（2年7月）

| | |
|-----|---|
| 北海道 | 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、極めて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。 |
| 東北 | 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響を十分に注意する必要がある。 |
| 関東 | 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。 |
| 北陸 | 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。 |
| 東海 | 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。 |
| 近畿 | 先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなかで、各種政策の効果等もあって、極めて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。 |
| 中国 | 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。 |
| 四国 | 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。 |
| 九州 | 先行きについては、新型コロナウイルス感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染症の動向や令和2年7月豪雨の影響など、管内経済を下押しするリスクに留意する必要がある。 |
| 福岡 | 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。 |
| 沖縄 | 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、極めて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。 |

問い合わせ先

財務省大臣官房総合政策課

東京都千代田区霞が関3丁目1番1号

Tel. 03-3581-4111 (内線) 2252, 2225

財務省ホームページ <https://www.mof.go.jp/>